

# 四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介  
心映の投句

モーツアルト聴かせて醸せし原酒とぞ筑後の友よりうれしき歳暮  
カレ煮る句ひ漂よふ夕暮れは離れ住む子の声の聞きたし  
来る年のカレンダー掛くる大晦日佳き年願い拍手を打つ  
入所せし友の留守宅庭先に白き山茶花咲きさかりたり  
帰省せし子に背を伸ばせと注意され過ぎし歳月振り返りたり  
月々に思はせれば言の葉を紡ぎて遊ばむ日々々にありけり  
冬至すぎ家の片付さなかなる我も似合うや姉さんかむり  
老いてわが為し得しことをここに見る松三千本育てて来しが

三村 和子  
村上 美幸  
高村 三也  
福田キヨ子  
桑野 昭子  
白石 清和  
八代 範夫  
福田 昌

はな・落の臺句会

池田一步選

命得し物の如くに草霧氷  
妣思ふ度に心の暖かく  
庭の樹々眠るが如し冴返る  
卒寿吾もしつかり歩き初詣  
続けるは学びの心暮の句座  
梵鐘の広がる音色去年今年  
持ち寄りしおでん困んで年忘  
初電話離さぬ受話器孫の声  
朝市の手に乗の売子かな  
老幹にして冬芽立つ力尚

小場 妙子  
馬郡 京子  
永末 公恵  
日高八重子  
松本みつを  
山本ひろし  
香月 眸  
高津 澄子  
千手 弘子  
熊谷カツミ

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

牛鍋に俳句談義の煮詰まりぬ  
冬至湯に酔の垢を流しけり  
生かされし幸せに書く賀状かな  
潮風に育つ蜜柑や元気色  
紅葉散る天与の色を惜しみなく  
朝靄に汽笛の咽ぶ冬の海  
三代の家の風格注連飾る  
何気なき日々の幸せ蜜柑剥く  
重ね着し歳相応の立ち居かな  
落葉掃く心の隙を風あふる

建部三由紀  
長副美恵子  
松岡 萬枝  
西田 真美  
今井三千代  
安田 健一  
岩井ひさ幸  
桂 啓子  
加藤さみ子  
小野 美幸

方城句会

池田一步選

裏山の居士も大姉も霜を着て  
窓に影ちらちら映り小鳥来る  
暁け方の風和らいで楓の芽  
高千穂の切り立つ巖千鳥かな  
短日や孫の帰りを門に立ち  
軸物の引き立つ床の突千両  
行く年や退院ならぬ人見舞ふ  
窓際にポインセチアを梳る

藤井耿之介  
渡邊 一枝  
尾崎 和子  
木村 誠一  
倉石嘉代子  
白石 凡子  
杉 フジエ  
長尾 冴子

## 福智の風

▶ついに福智町にもマスコットキャラクターが誕生しました! 特集内(P1-5)でも触れていますが、「今さら?」と思われるかたもいることでしょう。ですが、いわばキャラクター版の「後出しじゃんけん」。他にはないオンリーワンを目指せば、必ず勝機はあります。その第一弾はみなさんから募る「名前」。全国でも通用する素敵な名前をドシドシご応募ください。(相原)

▶「城山横穴群国指定記念シンポジウム」でSmileを撮影しました。やはりアイドルステージの撮影は気持ちが高まります! 引き続き物販(グッズ販売)コーナーも取材したかったのですが、次のプログラムが始まる時間になったため断念。次の機会に期待します。これが仕事ではなくプライベートならなあ…と思う今日この頃です。(荒牧)

写真が語る 写真館  
な丸の

赤池町成人式  
転載元●広報あかいけ  
撮影日●昭和57年

「元服」など成人を祝う儀礼は古くからありましたが、現在のよう成人式が行われたのは戦後から。当時は新成人が願いや希望を書いた風船を飛ばす企画などが行われていたようです。

昔の写真を探しています!  
☎ 総務課広報・広聴係  
☎ 22-0555



## Pickup Topics

### 史跡「城山横穴群」国指定記念シンポジウム

主催/福智町・福智町教育委員会・筑豊文化財行政連絡協議会

# 古代ロマン 地域の宝へ

町の史跡・城山横穴群が国指定へ——これを記念したシンポジウムで、史跡を地域の財産として活用するための意見が有識者や町民代表者によって交わされ、調査報告や出土品の展示があわせて行われました。その模様をお届けします。

福智で発見、発掘された九州最大規模の史跡・城山横穴群(金田)が、田川市郡では初となる国指定史跡となったことを受け、12月21日に地域交流センターで記念シンポジウムが行われました。

基調講演を行ったのは、考古学研究者である、小田富士雄 福岡大学名誉教授。城山横穴群の基礎知識や歴史的・地理的背景などが解説されました。

パネルディスカッションでは、町の図書アドバイザーである花井裕一郎さんをコーディネーター(進行役)とし、岡山理科大学の亀田修教授、市場小の井上憲治校長、商工会の池田昇会長、上野焼協同組合の高鶴亨理事長、町文化財専門委員の福田昌さんの5人がパネリストとなり討議。史跡巡りや発掘体験など、これから

の史跡活用方法について、それぞれが持つ専門知識を生かした意見を交わしました。トークショーやライブステージなども充実した今回のシンポジウム。全国屈指の史跡を地域の財産として後世に伝えるための計画やアイデア、まちづくりに活用できる可能性の高さを、約200人の来場者に向けて大々的に発信しました。

1 実際に発掘に携わった担当職員から生の声で概要説明が行われた。2 調査指導委員会委員長を務める小田富士雄さんの基調講演。3 はかま姿で登場した山本華世さん。4 出土品や調査報告パネルの展示。5 熱心な考古学ファンや地元住民が講演に耳を傾けた。6 会場に花を添えた筑豊ご当地アイドル「Smile」。7 幅広い意見が飛び交ったパネルディスカッション。

会場ロビーでは城山横穴群の出土品などのほか、平成25年度に筑豊地区内で発掘された遺跡の調査速報も展示。城山横穴群だけでなく、周辺地域の古代ロマンにも接することができるイベントとなりました。